

令和6年度 一般社団法人 長崎県障害者スポーツ協会 事業報告

I. はじめに

令和6年度は新型コロナウイルス感染症もほぼ収まり、予定していた事業を概ね計画どおり実施することができ、地域におけるスポーツ活動を通じた障害者の交流も徐々に回復されてきた状況でした。

その中においても、障害者の健康体力の維持増進のための指導体制を整える目的で、パラスポーツ指導員のスキルアップ研修会を実施するなど積極的に取り組みました。

一方、開催が迫った「2025東京デフリンピック」に日本代表として出場を目指す強化指定選手の活動支援に取り組みました。

さらに、協会の組織強化の基盤作りを目的に「福祉販売」、「テーマ募金」などの事業も積極的に取り組みました。

II. 総 括

1. 会 議

(1) 総 会

令和6年6月16日（日）

- ・令和5年度事業報告について
- ・令和5年度収支決算報告について
- ・令和6年度事業計画について
- ・令和6年度収支予算について
- ・役員の改選について

以上について、それぞれ承認されました。

(2) 理 事 会

第1回 令和6年5月13日（月）

- ・役員の推薦について
- ・令和5年度事業報告・収支決算報告・総会付議事項について

第2回 令和6年6月16日（日）

- ・役員の選定について

第3回 令和7年3月13日（木）

- ・旅費規程改正（案）について
- ・職員給与規程改正（案）について
- ・令和6年度収支補正予算（案）・令和7年度事業計画（案）・収支予算（案）について

- ・令和6年度長崎県障害者スポーツ協会表彰について
- ・総会付議事項について

以上について、それぞれ承認されました。

(3) 正副会長会

第1回 令和6年4月26日（金）

- ・令和6年度第1回理事会提案事項について協議しました。

第2回 令和7年2月20日（木）

- ・令和6年度第3回理事会提案事項について協議しました。

III. 実施事業

1. 第24回長崎県障害者スポーツ大会の開催（受託事業）

◎ 目 的

共生社会の実現に向け、ノーマライゼーションの理念のもと障害者スポーツを振興し、障害者のスポーツ活動の日常化と競技力の向上を図るとともに、より積極的社会参加と生活の質の向上に資することを目的として開催しました。

(1) 日時：令和6年5月26日（日）

(2) 競技種目・参加者数

競 技 会 場	競 技 種 目	参加者数
トランスコスモススタジアム長崎	陸上競技	281名
県立総合運動公園補助競技場	フライングディスク	98名
諫早市中央体育館（メイン）	ボッチャ	143名
諫早市中央体育館（サブ）	ユニカール	30名
大村市アーチェリー場	アーチェリー	6名
長崎市障害福祉センター（体育室）	卓球	82名
長崎市障害福祉センター（軽スポーツ室）	サウンドテーブルテニス	3名
長崎市民総合プール	水泳	65名
長崎ラッキーボウル	ボウリング	205名
参加選手合計		913名

(3) 参加者数

・選 手 数	913名	
・選手団役員数	105名	
・競技役員・補助員	388名	
・ス タ ッ フ 数	50名	計：1,456名

2. 第23回全国障害者スポーツ大会選手団強化練習及び派遣事業（受託事業）

◎ 目 的

障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典である本大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とします。

（1）選手団の強化練習について

① 強化練習会場

個人競技：7競技 団体競技：2競技

競 技	練 習 会 場
陸 上 競 技	県立総合運動公園補助競技場
水 泳	長崎市民総合プール
ア ー チ ェ リ ー	長崎市民アーチェリー場
卓 球	長崎市障害福祉センター
フ ラ イ ン グ デ ィ ス ク	県立ろう学校
ボ ウ リ ン グ	長崎ラッキーボウル
ボ ッ チ ャ	ハートセンター
知的ソフトボール（混合）	大村市総合運動公園運動広場
聴覚バレーボール（男子）	島原市復興アリーナ・諫早市新道福祉交流センター

② 実施回数：各競技2～3回

③ 練習日及び参加者数

競 技	練 習 日	選手数	役員数	合 計
陸 上 競 技	8月26日（月）・9月28日（土） 10月5日（土）	16名	7名	23名
水 泳	9月15日（日）・9月29日（日） 10月6日（日）	5名	2名	7名
ア ー チ ェ リ ー	7月21日（日）・8月4日（日） 9月8日（日）	1名	1名	2名
卓 球	7月20日（土）・9月14日（土）	7名	4名	11名
フライングディスク	8月4日（日）・9月29日（日）	7名	2名	9名
ボ ウ リ ン グ	8月31日（土）・9月21日（土）	3名	2名	5名
ボ ッ チ ャ	8月7日（水）・9月4日（水）	2名	3名	5名
知的ソフトボール（混合）	9月8日（日）・9月29日（日）	14名	4名	18名
聴覚バレーボール（男子）	9月15日（日）・9月29日（日）	11名	3名	14名

(2) 選手団派遣について

① 長崎県選手団結団壮行式

・日時：令和6年9月10日（火）

・場所：出島メッセ

② 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」

・日時：令和6年10月26日（土）～10月28日（月）

・派遣：10月24日（木）～10月29日（火）

③ 長崎県選手団参加競技及び参加者数

競 技 会 場	競 技 種 目	参加選手数
SAGAスタジアム	陸 上	16名
SAGAアクア	水 泳	5名
基山町総合体育館	卓 球	7名
鹿島市陸上競技場	ア ー チ ェ リ ー	1名
伊万里市国見台陸上競技場	フライングディスク	7名
嬉野市中央体育館	ボ ッ チ ャ	2名
ボウルアーガス	ボ ウ リ ン グ	3名
SAGAアリーナ	バ レ ー ボ ー ル	11名
太良町B&G海洋センター	ソ フ ト ボ ー ル	14名
	合 計	66名

◎選手：66名 役員：36名 選手団合計：102名

④ 獲得メダル数

金メダル 15個

銀メダル 14個

銅メダル 16個

計 45個

3. 障害者スポーツ普及・活性化事業（受託事業）

◎ 目 的

障害者がスポーツを楽しみ、交流の場をもうけ、健康で明るい生活の促進を目的に、スポーツ・レクリエーション教室や競技力向上支援等の取組みを行いました。

(1) 障害者スポーツ人材バンク

パラスポーツ指導員を登録する「障害者スポーツ人材バンク」を運営し、さらなる活用に向けたPR活動を行い、障害者スポーツの活性化を図りました。

① 障害者スポーツ人材バンクの運営

・「障害者スポーツ人材バンク」に3名が登録しました。（現在119名）

② 制度周知のためのPR活動

- ・スポーツ・レクリエーション教室及び普及活動等において、「障害者スポーツ人材バンク」制度を紹介し、地域スポーツ活動への人材派遣について説明しました。
- ・登録者の中から、長崎県パラスポーツ指導者協議会からの推薦を得た7名を委嘱し、各地域に出向いて活動できる人材を「パラスポーツ普及指導員」として、年間を通して活動しました。
- ・パラスポーツ指導員をスポーツ・レクリエーション教室等に派遣しました。
 (パラスポーツ普及指導員)・・・27カ所に延べ32名派遣
 (人材バンク)・・・・・・・・・・18カ所に延べ28名派遣
 (競技指導者)・・・・・・・・・・3カ所に延べ1名及び2団体派遣
 【派遣状況計】・・・・・・・・・・30カ所に延べ61名及び2団体派遣

(2) 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催

障害者スポーツの裾野を広げる取組みとして、地域団体、施設、特別支援学校等を調査し、スポーツ教室の実施を要請されるところに積極的に出向き、スポーツに取り組む楽しさと継続を指導しました。

① 普及研修会の開催状況・・・2カ所 約51名参加

- ・障害者スポーツ・レクリエーション教室を実施していくうえで、指導員等を対象とした研修会を実施しました。

No.	開催月日	事業名	内容	参加者
1	6月13日(木)	長崎国際大学	「障がい者スポーツ」講義	約30名
2	7月30日(火)	諫早市手をつなぐ育成会	ボッチャ	21名

② 普及活動の開催状況・・・・・・・・16カ所 約1,354名参加

- ・従来のスポーツ教室やイベントの中で障害者スポーツを紹介して、体験していただきました。また健常者と一緒に障害者スポーツを体験し交流しました。

No.	開催月日	事業名	内容	参加者
1	6月20日(木)	長崎市中央公民館「春の公民館講座」	ボッチャ	27名
2	7月18日(木)	対馬市福祉事務所 障害者スポーツ体験	ボッチャ	4名
3	7月18日(木)	県立対馬高等学校	ボッチャ	165名
4	8月2日(金)	職員元気回復・健康維持増進事業	卓球バレー・コンホール フロッカー・フライングディスク	46名
5	8月22日(木)	諫早市手をつなぐ育成会ミニボッチャ大会	ボッチャ	18名
6	10月14日(月)	第26回長崎市民体育・レクリエーション祭	車いすバドミントン	12名

No.	開催月日	事業名	内 容	参加者
7	10月17日(木)	大村市健康福祉祭り	ボッチャ・フライングディスク	165名
8	11月15日(金)	公民館高齢者出前講座	ボッチャ	26名
9	11月16日(土)	第5回五島市長杯ボッチャ大会	ボッチャ	132名
10	11月16日(土)	ながさき井戸端パーティーinCOCOWALK ～秋のつながるフェスタ～	ボッチャ	90名
11	11月23日(土)	第8回木谷隆行杯 長崎県特別支援学校ボッチャ大会	ボッチャ	73名
12	12月6日(金)	長与町立南小学校「パラスポーツ体験学習」	ボッチャ	140名
13	12月15日(日)	チャレンジ小野っ子	フライングディスク・ボッチャ ふうせんバレーボール 車いすバスケットボール	125名
14	1月22日(水)	対馬市立豆酙中学校 「パラスポーツ体験学習」	ボッチャ ヒットダ!ターゲット	11名
15	1月25日(土)	波佐見町学童野球連盟「パラスポーツ体験会」	ボッチャ	90名
16	3月19日(水)	県立明誠高等学校 ボッチャ体験会 (長崎県ボッチャ協会より要請)	ボッチャ	約230名

③ 普及教室の開催状況・・・6カ所 220名参加

・依頼があった施設や、特別支援学校などでスポーツ・レクリエーション教室を行いました。

No.	開催月日	事業名	内 容	参加者
1	5月6日(月)	長崎市手をつなぐ育成会	ボッチャ・フロッカー	31名
2	10月9日(水)	県立虹の原特別支援学校 壱岐分校 スポーツ教室	フロッカー ヒットダ!ターゲット	76名
3	11月4日(月)	ボッチャ体験講座	ボッチャ	23名
4	11月10日(日)	長崎市手をつなぐ育成会	ボッチャ・フロッカー	22名
5	1月13日(月)	島原市手をつなぐ育成会	ボッチャ・フロッカー ヒットダ!ターゲット	21名
6	2月16日(日)	長崎手話サークルボッチャ教室	ボッチャ	47名

(3) 各団体競技チーム等の競技力向上のための支援

- ① 団体競技の更なる振興・強化を図るために「競技力向上の支援」を行いました。
- ② 団体競技の練習会を視察し助言等を行いました。

4. パリパラリンピック等アスリート特別強化事業（受託事業）

◎ 目 的

本県在住の、パリパラリンピック競技大会及び第25回夏季デフリンピック競技大会に向けて出場が期待される選手が、JPC加盟競技団体が指定する国内外の各種大会、強化合宿に参加するために必要な遠征等に対して支援を行うことを目的とします。

（1）本年度の支援対象の実績

助成選手名	競技種目	強化事業概要
松尾 芽依	デフバスケットボール	第1回TDBA デフバスケットボールユースキャンプ in 大阪 【東京デフリンピック出場に向けた強化合宿】 ・開催日：令和6年12月14日～15日 ・開催場所：大阪市舞州障がい者スポーツセンター ・主催：（一社）東京都デフバスケットボール協会

5. 障害者スポーツ振興事業

（1）地域スポーツ交流事業

① 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催

地域ごとに障害者の親睦・交流を促進するとともに、障害者の心身の健康維持と体力増強、より積極的な社会参加の推進を図ることを目的に開催しました。

【障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催状況（地域別）】※参加者 247名

No	開催月日	開催地区	会 場	実 施 種 目	参加者
1	9月26日	島原市	島原市有明公民館	ボッチャ	18人
2	10月 9日	壱岐市	大谷体育館	ボッチャ・ユニカール フライングディスク	52人
3	11月10日	波佐見町	波佐見町勤労者 体育センター	ボッチャ・フロッカー	11人
4	11月17日	大村市	大村市立大村小学校	ふうせんバレーボール	31人
5	1月23日	対馬市	豊玉町総合運動公園 体育館（ハートーム）	フライングディスク ヒットだ！ターゲット フロッカー	17人
6	2月16日	南島原市	布津町 世紀の泉	フライングディスク ボッチャ・コーンホール	37人
7	3月 8日	新上五島町	新上五島総合福祉 センター	ボッチャ	39人
8	3月25日	西海市	西海市総合福祉 センター	ボッチャ	42人

(2) パラスポーツ指導員養成事業

① 「パラスポーツ指導員（初級）養成講習会」の開催

日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員制度の規程に基づき開催しました。

- ・開催日：令和7年1月18日（土）・19日（日）・25日（土）・26日（日）
- ・開催場所：長崎市障害福祉センター・長崎県総合福祉センター
- ・受講者数：12名
- ・研修科目：講義【23時間】

月 日	研 修 科 目	時間
1月18日（土）	安全管理	2.5
	全国障害者スポーツ大会の概要	2.0
	障がいのある人との交流（※実技）	1.5
1月19日（日）	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫（※実技）	3.0
	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	1.5
	コミュニケーションスキルの基礎（※演習を含む）	1.5
1月25日（土）	各障がいの理解の理解（Ⅰ）	2.0
	パラスポーツに関する諸施策	1.5
	パラスポーツの意義と理念	2.0
1月26日（日）	パラスポーツ推進の取り組み	1.5
	各障がいの理解の理解（Ⅱ）	4.0
	合計	23.0

② パラスポーツ指導員の育成

- 日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員を地域スポーツ教室及び普及事業等へ指導者として派遣しました。
- 「パラスポーツ指導員スキルアップ研修会」を開催しました。
 - ・開催日：令和6年8月18日（日）
 - ・会場：諫早市中央体育館
 - ・参加者：公認指導員24名 一般5名
 - ・研修内容：長崎県パラスポーツ指導者協議会と連携し、協会登録の競技団体の協力を得て実施しました。

(3) 障害者スポーツに関する調査研究事業

各県及び指定都市が進めている障害者スポーツ振興の現状や課題、並びに、パラスポーツの動向等の報告を含む、今後のスポーツ振興についてのビジョン等を共有し、情報

交換を通じて交流することを目的としています。

- ① 「パラスポーツ九州ブロック連絡協議会」への参加
・令和6年7月17日（水） 福岡クローバープラザ
- ② 「全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会」への参加
・令和6年7月27日（土）・28日（日）
滋賀県立県民交流センター（ピアザ淡海）
- ③ ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト「パラリンピック競技基礎測定会」
九州ブロック・佐賀会場（基礎測定会における運営として協力）
・令和6年7月27日（土） 吉野ヶ里町文化体育館
- ④ 「九州ブロックパラスポーツ指導者協議会 九州ブロック研修会」への参加
・令和7年2月8日（土）・9日（日） ハートピアかごしま
- ⑤ 「パラスポーツ登録団体 合同会議（全国）及び情報交換会」への参加
・令和7年3月7日（金） ロイヤルパークホテル水天宮前

（４） 障害者スポーツ活動等支援事業

① 令和6年度長崎県障害者スポーツ協会表彰

永年にわたり本県障害者スポーツの普及・強化にご尽力いただいた1企業及び3名の方に特別功労賞、2名に功労賞、2名に優秀指導者賞、本年度国内の主要な大会で顕著な成績を収めた9名1団体に優秀選手賞への授与について、令和7年2月20日（木）開催の令和6年度の長崎県障害者スポーツ協会被表彰者の審査会提案を基に、3月13日（水）開催の第3回理事会において承認されました。

【特別功労賞】

- ・株式会社 九州ガスホールディングス 様：高額のご寄贈による
- ・土岐 達志 様：永年の功労による（障害者スポーツ全般）
- ・渡邊 勝平 様：永年の功労による（パラスポーツ指導）
- ・城塚 良三 様：永年の功労による（車いすバスケットボール）

【功労賞】

- ・奥野比呂志 様：ボッチャ競技における永年の功労による
- ・向井 洋二 様：水泳競技における永年の功労による

【優秀指導者賞】

- ・前田 真一 様：ソフトボール競技における永年の指導功績による
- ・山本由美子 様：陸上競技における永年の指導功績による

【優秀選手賞（個人）】

- | | | |
|-----------|---|--|
| ・白木 大悟 様： | } | 第23回全国障害者スポーツ大会
陸上競技 4×100mリレー 第1位
(大会新記録樹立) |
| ・西山 蓮 様： | | |
| ・大石 祥 様： | | |
| ・古川 侑佳 様： | | |

- ・奥野 大和 様：第21回日本デフ陸上競技選手権大会 十種競技 第3位
- ・山口 京花 様：第21回日本デフ陸上競技選手権大会 走幅跳 第1位
- ・森田 悠月 様：2024 ジャパンパラ水泳競技大会 400m自由形 第1位
- ・太田 歩美 様：ITT Thailand Para Open 2024 混合ダブルス 優勝
- ・川久保美鈴 様：パラID 全日本卓球選手権大会 2024 ダウン症の部 優勝

【優秀選手賞（団体）】

- ・聴覚バレーボール 男子チーム 様

第23回全国障害者スポーツ大会 バレーボール競技（身体） 第3位

② 県内で開催される各種大会へ出席しました。

（5）広報・公聴事業

① 協会だより等の発行

- ・協会だより37号（1,700部）、38号（各1,700部）を発行しました。
- ・ホームページの随時更新を行いました。

主な内容

1. 県大会・全国大会・パラスポーツ等に関する情報、報告など
2. 登録団体の活動情報、報告など
3. 地域における障害者スポーツの情報、報告など
4. 各種大会等のお知らせ

② 各種報道機関へ障害者スポーツ選手の情報提供

地元報道機関へ積極的に障害スポーツの情報を提供し、多くの県民に障害者スポーツ選手の活躍状況を周知しました。

IV. 物品販売事業の推進（福祉販売）

本協会は、障害者スポーツの振興による障害者の社会参加促進に取り組んでおり、自己財源確保及び本協会正会員団体の活動費を確保するため、福祉販売に取り組みました。

売り上げ実績

【単位：円】

販売団体	総売上額	団体販売手数料	協会手数料
会員23団体	2,574,000 円	670,540 円	812,280 円
スポーツ協会	336,000 円	—	189,270 円
ポロシャツ	347,000 円	—	65,520 円
計	3,257,000 円	670,540 円	1,067,070 円

※協会手数料には商品代の消費税等を含む

V. 障害者スポーツ活動等振興助成事業

障害者スポーツ振興助成要綱に基づき申請された31団体62事業に対し、各種大会への派遣事業及び開催事業に対して助成しました。

VI. 赤い羽根募金「テーマ募金」

(1) 「テーマ募金」助成金による活動報告

① アスリート活動

陸上競技、水泳競技、車いすバスケットボール競技の各強化指定選手の強化合宿参加経費等に対して助成しました。(4名)

② 団体競技活動支援

障害者スポーツ活動等振興補助金申請団体に対して助成しました。(1団体)

③ 全国大会派遣選手団活動助成

- ・全国大会に派遣する各選手等へ強化練習会、派遣時の活動助成をしました。
- ・全国大会に派遣する選手団の紹介、活躍などの情報提供をしました。

④ 九州ガスホールディングス杯 2024 長崎県障がい者ボッチャ大会開催

令和6年10月6日(日)諫早市中央体育館において、障害のある人となない人が共に「ボッチャ」を楽しむ一日となりました。

参加者：個人19人 団体41チーム(139名)

⑤ 競技用具購入

全国大会派遣時に必要な用具等を購入しました。

「テーマ募金」助成金内訳

【単位：円】

	助成事業名	事業総経費	テーマ募金
1	アスリート活動	230,000 円	230,000 円
2	団体競技活動支援	11,000 円	11,000 円
3	全国大会派遣選手団活動助成	772,266 円	372,266 円
4	九州ガスホールディングス杯 2024 長崎県障がい者ボッチャ大会開催	632,834 円	582,334 円
5	ボッチャ競技等用具購入他	28,234 円	28,234 円
	計	1,674,334 円	1,223,834 円

(2) 募金活動の取り組み

令和6年度赤い羽根募金(令和7年度助成)テーマ募金(使途選択募金)へ昨年に続き参加し、多くの方のご理解とご協力を得て、目標額を達成しました。

事業名：障害者スポーツ普及強化事業

活動概要：・国内外の主要大会・合宿等に参加するトップアスリートへの活動支援

- ・団体競技の強化支援や全国障害者スポーツ大会に参加する選手団への活動支援及び選手団の紹介、活躍などの情報提供
- ・障害者のスポーツ活動の場を広げる大会の開催

・地域における障害者スポーツ啓発活動の事業推進

募集期間：令和7年1月1日（水）～3月31日（月）

目標額：1,000,000円

募金額：1,593,782円（64件）

昨年実績：1,691,683円（70件）

VII. サントリーチャレンジド・スポーツアスリート奨励金の給付

サントリーチャレンジド・スポーツアスリート奨励金の助成事業に取り組みました。

・アスリート：臼木 大悟（陸上競技）

2024年の国内外の主要大会参加経費に充当し、NAGASE カップ陸上競技大会4×400mリレー（日本代表チーム）のアンカーを努め、世界新記録を樹立する活躍をした。

・活動支援団体：長崎陸上競技協会（陸上競技）

陸上競技活動団体として、知的・聴覚障害の選手を中心に国内主要大会参加を支援し、それぞれ顕著な成果を挙げた。

VIII. その他の事業

（1）賛助会員について

本協会の組織強化、事業充実を図るため、自己財源確保を目的に賛助会員の増員に取り組みました。

◆令和6年度の賛助会員数

・団体賛助会員・・・・・・・・・・33団体【1団体減】

・個人賛助会員・・・・・・・・・・686名【131名減】

（内：特別支援学校【分校・分教室を含む】22校642名の教職員）

（2）障害者スポーツ用具の貸し出しについて

本協会管理のスポーツ用具を貸し出し、障害者スポーツの普及に役立てました。

競技用具	借用回数	借用団体
ボッチャ	22	長与町教育委員会ほか
競技用車いす	17	長崎市障害福祉センターほか
フロッカー	1	長崎県ろうあ協会 大村支部
ヒットだ！ターゲット	1	長崎市手をつなぐ育成会
ビブス	1	長与町障害者団体連絡協議会
ハンドマイク	1	スペシャルオリンピックス日本・長崎
展示パネル	1	大村市身体障害者団体連合会